

# 令和3年度 千葉県ICT利活用戦略 進捗状況について

---

千葉県総務部行政改革推進課

# 1. (参考) 令和3年度の主な取組

## ■ (県庁) 職員の意識醸成

- ・ 知事と若手職員との意見交換 (6月)
- ・ デジタル・業務改革担当部長と公募職員との意見交換 (8月)
  - 職員意見の実現に向けて⇒ 若手による「庁内デジタル化推進ワーキング」設置
  - ⇒ 来年度に向けて 「職員提案制度」について検討
- ・ 全管理職向けDX研修 (9月)
- ・ 全職員向けDX研修 (10月～)



知事と若手職員との意見交換

## ■ (県庁) 業務の効率化等

- ・ テレワークの推進
- ・ 業務のペーパーレス化の推進
- ・ 各種ICTツールの活用 等

ビジネスチャット

Web会議システム

ローコード開発ツール

現場業務改革

オンラインセミナー

RPA

AI-OCR

(児童相談所)

- ・ 公用スマホ配付
- ・ 新「児童相談所業務支援システム」を導入

# 1. (参考) 令和3年度の主な取組

## ■ DX推進に係る市町村との連携

- ・ 県と市町村との連携を図るため、課長レベルの会議を設置（自治体DX推進に係る連絡調整会議）し、随時、課題・進捗把握や意見交換、市町村担当者向けセミナー等を実施  
第1回会議（6月）、第2回会議（8月）  
実務担当者向け標準化・共通化セミナー（10月）



ちば電子申請サービス

## ■ 行政手続のオンライン化

- ・ 昨年9月末までに、県が押印を見直すことができる対象様式6,000件のうち、9割弱（5,300件）で押印を廃止し、申請手続のオンライン化を推進
- ・ 本年1月時点において、電子申請システムにおいて利用可能な手続件数は前年比で1.7倍（1,227件）、申請件数は1.6倍（17万6,679件）に拡大



## ■ オープンデータ利活用の促進

- ・ 「県オープンデータサイト」の新サイトを公開（11月）  
（検索機能強化、二次利用可能なデータの増加、ライセンス表記等の属性情報を追加）
- ・ 利活用事例の募集を開始（2月）



新 千葉県オープンデータサイト 3

# 1. (参考) 令和3年度の主な取組

## ■ 学校におけるICT利活用の推進

- ・ **全県立学校に高速大容量通信が可能な学習用ネットワーク (Wi-Fi環境) を整備。** (R4年4月より、BYODによる授業開始予定)
- ・ 「**GIGAスクールサポーター**」を配置し、市町村教育委員会が取り組むICT教育を支援。
- ・ その他、ICTを活用した教育を推進 (オンラインコンテンツやAIソフト等の活用の検証事業など)  
※継続取組



タブレットを使った資料作成

## ■ 中小企業のDX支援等

- ・ **中小企業向けDX研修や、オープンイノベーションを促進するための交流会を開催**
- ・ **働き方改革やテレワークについてのポータルサイトの開設**
- ・ **中小製造業のスマート化推進支援** ※継続取組  
(IoT・AIワンストップ窓口の設置、専門家派遣、体験型実習)
- ・ **中小企業等向けテレワーク専門家派遣・トライアル支援** ※継続取組



オープンイノベーション交流会



働き方改革推進事業  
中小企業向け特設サイト

## ■ スマート農林水産業の推進

- ・ **千葉県スマート水産業推進方針の策定**
- ・ **千葉県スマート農業推進方針に基づく、スマート技術の開発や現地実証、地域への普及促進** ※継続取組



農業におけるドローンの活用

## 2. 現 ICT利活用戦略の概要（令和元年9月策定）

### 戦略策定趣旨

県民一人ひとりの暮らしを豊かにし、本県の持続的な発展を実現するため、飛躍的に発展しているICT（情報通信技術）を手段として効果的に活用していく。

### 戦略期間

令和元年度～随時更新していく永遠のβ版

### 戦略の対象となるプレイヤー

県、市町村、県民、企業・個人事業主、NPO・任意団体、ITベンダー、大学・研究機関

### 目指す姿

**県民の暮らしを豊かにし、子どもからお年寄りまで一人ひとりが活躍できる社会（くらし満足度日本一の実現）**

### 実現に向けた県の取組

県は自らICTを利活用するとともに、各プレイヤーの取組を促す。

#### 波及効果の高いプロジェクト

県が早期にプロジェクト化して実践

- ① ICTを活用した庁内業務効率化
- ② ICTの活用による現場業務改革
- ③ ICTを効果的に利活用できる人材育成

#### 個別施策の推進

県が主体となって推進する個別施策

- ① あらゆる人が暮らしやすい社会
- ② 誰もがどこでも能力を発揮できる社会
- ③ 生産性の高い産業に支えられる社会

#### 推進を支える土台づくり

モチベーターとしての県の取組

- ① 共創の機会の創出
- ② データの共有と活用
- ③ 知識の普及や機械の提供

### 推進体制

千葉県ICTアドバイザリー会議、千葉県地域IT化推進協議会、千葉県ICT利活用推進委員会

## 2. ICT利活用戦略の進捗状況（概要）

### 令和3年度 成果指標・数値目標の達成状況

■ 戦略を策定した令和元年度に、令和3年度を目標年度とする計68の成果指標・数値目標を設定。

■ これらについて、令和3年11月時点で、令和3年度末の実績値又は到達見込値により、各成果指標の達成状況を確認したところ、以下のとおり、目標値を100%達成した指標の割合は73.5%となった。

項目・指標		達成率		未達成			その他 (進捗管理の停止)
		100%	60%以上 100%未満	30%以上 60%未満	30%未満		
1.波及効果の高いプロジェクト	計12指標	7	1	1	2	1	
2.個別施策	計48指標	36	2	0	10	—	
3.推進を支える土台づくり	計8指標	7	0	0	1	—	
(計68指標)		<b>73.5%</b>	<b>4.4%</b>	<b>1.5%</b>	<b>19.1%</b>	<b>1.5%</b>	

### 3. ICT利活用戦略の進捗状況（各項目）

#### （1）波及効果の高いプロジェクト

- ① ICTを活用した庁内業務の効率化
- ② ICTの活用による現場業務改革(児童相談所)
- ③ ICTを効果的に利活用できる人材の育成

達成率 項目・指標	達成	未達成			その他 (進捗管理の 停止)
	100%	60%以上 100%未満	30%以上 60%未満	30%未満	
計 1 2 指標	7	1	1	2	1
計	58.3%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%

#### 達成（見込）となる指標

- ◆ **テレワーク実施者数**（目標値：280人 R3年度実績値：4月～8月 36,821人）
- ◆ **ICTを利活用し、新たに業務効率化を進めた取組数**（目標値：5件 R3年度末見込値：7件）
- ◆ **WEB会議機能を利用した人数**（目標値：1,000人 R3年度末見込値：延べ参加人数131,704人）
- ◆ **産総研デザインスクールへの参加校数**（目標値：1校 R3年度末実績値：1校）
- ◆ **小・中・高連携の特別授業実施教員のうち、プログラミング指導をする人数**  
（目標：増加を目指します 基準値：25名 R3年度末実績値：26名）
- ◆ **特別非常勤講師のうちプログラミング指導をする人数**  
（目標：増加を目指します 基準値：9名 R3年度末実績値：14名）
- ◆ **県立高等技術専門校のICT関連訓練科の就職率**（目標：増加を目指します 基準値：89% R2年度末実績：100%）

### 3. ICT利活用戦略の進捗状況（各項目）

#### 未達成（見込）となる指標

- ◆ **RPA導入により削減した作業時間（目標値：6,000時間 R3年度末実績値：5,445時間）**
  - RPA導入の適性が当初の想定よりも低く、導入効果があまり出なかった業務があった。今回の結果を活かして、よりRPAに導入適性のある業務を選定し、導入していく。
- ◆ **ICTを活用した業務改革に資する取組の数（目標値：8件 R3年度末見込値：4件）**
  - 目標値の8件は、児童相談所におけるICTを活用した業務改革が4件、これを踏まえた他への横展開が4件として設定したもの。児童相談所の4件は達成見込みであるものの、今年度末までかかる予定であるため、児相での効果分析を踏まえた他への展開は次年度以降行っていくこととなり、未達成となった。
- ◆ **児童・生徒のICT活用を指導する能力を持つ教員の割合（目標値：100% R3年度末見込値：73.5%）**
  - 今年度の状況については来年度当初に調査の予定である（国調査）ため未判明であるが、恐らく目標値の100%には届かないと思われる。新型コロナウイルスにより研修会等が制限された影響もあるが、更なる教員のICT指導能力向上のため、オンラインでのセミナーや研修なども活用し、取組の強化を図っていく。
- ◆ **離職者等再就職訓練事業の情報系コースの就職率（目標値：75.0% R3年度実績値：R3.12時点 68.0%）**
  - 令和2年6月以降、千葉県内の有効求人倍率が連続して1を下回るなど低下し、求職が求人を上回る厳しい雇用情勢が続いており、改善の見通しがたっていないため。

#### 進捗管理を停止している指標

- ◆ **電子化済みの手続数（目標値：150手続）**
  - 書面規制、押印、対面規制の抜本的な見直しに向け、対象となる全ての手続について様式単位での調査を実施しており、同調査の結果を基に手続の電子化の状況を把握していくこととしているため、本指標による進捗管理は停止している。なお、令和3年度は、署名・押印が不要な届出等約1,000件について、年度内のオンライン化を進めている。

### 3. ICT利活用戦略の進捗状況（各項目）

#### （2）個別施策・推進を支える土台づくり

項目・指標	達成率	未達成		
	100%	60%以上 100%未満	30%以上 60%未満	30%未満
個別施策・計48指標	36	2	0	10
推進を支える土台づくり・計8指標	7	0	0	1
<b>達成率</b>	<b>76.8%</b>	<b>3.6%</b>	<b>0%</b>	<b>19.6%</b>

#### 達成（見込）となる指標

56指標のうち、43指標で目標達成となる見込み。

#### 未達成（見込）となる指標

#### 新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと思われるもの

- ◆ 年間用紙使用量（目標値：365,241千枚 R2年度速報値：437,322千枚）
- ◆ 「ちば医療ナビ」アクセス件数（目標：増加を目指します R元年度：65,667件/月 R3年度見込値：35,406件/月）
- ◆ ちばりすネットへの情報登録件数（目標値：9,000件 R3年度末見込値：7,500件）
- ◆ 医療機関の応需情報等の適切な提供（「地域別応需情報検索」「実施基準・科目検索」へのアクセス件数）  
（目標：増加を目指します H30年度：103,222件 R3年度末見込値：96,898件）

### 3. ICT活用戦略の進捗状況（各項目）

#### その他の理由で未達成（見込）となるもの

- ◆働き方改革アドバイザー派遣企業数（目標値：25社 R3年度末見込値：20社）
- ◆施設予約システムの共同利用団体数（目標値：増加を目指します 基準値：県含む12団体 R3年度実績値：12団体）
- ◆ちば情報マップへの掲載マップ数（目標値：100地図 R3年度見込値：99地図）
- ◆働き方改革アドバイザー派遣企業数（目標値：25社 R3年度末見込値：20社）
- ◆ふさの国文化財ナビゲーションのアクセス数（目標値：70,000件 R3年度見込値：65,738件）
- ◆新指定文化財等、新発見・範囲及び内容変更した埋蔵文化財包蔵地の数（目標値：70件 R3年度末見込値：51件）
- ◆介護職員の離職率（目標：全産業と同じ水準(H28年度12.0%) 基準値：16.9% R3年度実績値：19.9%)
- ◆森林クラウドを利用する団体数（目標値：県・52市町村・13林業事業体 R3年度末実績：県・52市町村・2林業事業体）
- ◆分娩間隔（乳用牛の平均分娩間隔の短縮）（目標値：419日 R3年度末見込値：447日）
- ◆ニーズ把握の体制整備（目標：相談窓口等の設置（ネット・出前等） 令和3年度末実績値：未整備）

## 4. ICT利活用戦略の進捗状況（戦略の見直しへ）

### 戦略の進捗状況を踏まえて ※県の取組における進捗

#### ■ 新型コロナウイルス感染症の影響が大

- ・ コロナ以前とは社会状況等の前提条件が変化
- ・ 今までの施策や指標の見直しの必要性

#### ■ デジタルに係る国の動き

- ・ デジタル庁の設置、自治体DXの推進
- ・ デジタル社会の推進に向けた重点計画の決定、デジタル田園都市構想

#### ■ コロナ化を経た近年のデジタル技術の急速な浸透・進展

- ・ 既存の仕組み・構造等にとらわれない、新しい価値やサービス創出への可能性



**ICT利活用戦略の見直しにより、県のデジタル・トランスフォーメーション推進へ**